

第 2 学年 学 年 経 営 案

学校 教育 目 標	<p>「自立・貢献・信頼」</p> <p>(1) 自ら学ぶ生徒</p> <p>(2) 思いやりのある生徒</p> <p>(3) 健康に努める生徒</p>	学 年 教 育 目 標	<p>「自律・協力・思いやり」</p> <p>目標達成のために、3本の矢 ・学習 ・行事 ・部活動 に全力に取り組ませる。</p>
学 校 経 営 方 針 と 重 点 目 標	<p>1 「教育は未来づくり」を理念として</p> <p>2 流行を取り入れた不易を大切に</p> <p>3 組織体として3つのワークを合言葉に</p> <p>4 日常の学校生活は「凡事徹底」を貫く</p> <p>5 校務分掌組織を活性化し、PDCA サイクルによる教育計画の実施を図る</p> <p style="text-align: center;">重点目標</p> <p>(1)創意工夫を活かした特色ある教育活動の展開</p> <p>(2)学習指導の充実と確かな学力の育成</p> <p>(3)生徒指導・教育相談の充実</p> <p>(4)進路指導・キャリア教育の推進</p> <p>(5)体力の向上と体育活動の推進</p> <p>(6)安心・安全な学校づくり</p> <p>(7)特別支援教育の充実</p> <p>(8)道徳教育の充実</p> <p>(9)学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上</p> <p>(10)教育公務員としての自覚を持った教職員集団の構築</p>	学 年 経 営 方 針	<p>○学習・行事・部活動（諸活動）の3本の矢の強化</p> <p>○授業、休み時間、給食・清掃指導など、生徒との時間と空間を共有する場を大切にし、問題の早期発見をするとともに、教員・生徒が学年一丸となって活動する体制を作る。</p> <p>①生徒一人ひとりに寄り添った指導</p> <p>②授業規律を大切にし、学習の基礎基本の充実を図る</p> <p>③職員の共通理解を図り、生徒指導や行事などの行動において協力体制を強化して取り組む</p> <p>④役割を持たせ、責任を持って活動させることで、リーダー性を養わせるとともに、望ましい集団の中での他との関わりについて学ばせる</p>
学 習 指 導	<p>落ち着いて授業に取り組むことのできる生徒が多く、学習する環境が整ってきている。数学や英語の授業での少人数指導・複数教員による指導などを通して、基礎学力が身につけていない生徒への個々の対応をするとともに、全体のレベルアップを図っていく。</p>	生 徒 指 導	<p>積極的な生徒指導に重点を置き、教員が共通理解し、複数で同じ歩調で、生徒一人ひとりに寄り添った指導にあたる。</p> <p>また、教員間の連絡、家庭との連携を通し、問題行動の早期発見、早期解決を図っていく。</p>
道 徳 指 導	<p>自分自身を見つめさせ、よりよい生活を送るために集団の中でどうあるべきか、社会でどう生きていかねばならないか考えさせ、他者との関わりの中で思いやりの心を育てる。</p>	進 路 指 導	<p>上級学校について調べたり、自分のよさについて考えたりすることを通し、中学卒業後や将来の進路について考えさせる。</p>
特 活 指 導	<p>様々な行事、係活動や委員会活動を通して、それぞれの役割を持たせ、責任をもって取り組ませる。そのことによって、リーダー性を高め、他者と協力して自分たちで課題に取り組む力を育てる。</p> <p>また、中堅学年として下級生のよき手本となり、これから多くの場面で中心となって活躍していくという自覚を持たせる。</p>	家 庭 と の 連 携	<p>「学年だより」「学級通信」などの各種通信や、密な家庭との連絡を通して、地域・家庭との信頼関係を築き、生徒の相互理解を深めるとともに、同じ視線で生徒を見守っていく。</p>